

# 政策創造専攻

Graduate School of Regional Policy Design / Major in Regional Policy Design

募集人員：修士課程 50名／博士後期課程 10名 | 開講形態：夜間・開講 | キャンパス：市ヶ谷

長期履修制度：有 | 入学者の職域：会社員、企業経営者、公務員、市区議会議員・秘書、国公私立大学教職員、経営コンサルタント、社会保険労務士、公認会計士、税理士、デザイナーなど

## 日本の活性化を担う 政策デザイン能力を養成。

グローバルな環境が変化する中で、地域の衰退が顕著です。日本のさまざまな仕組みの再生が急務であるように見えます。各地域で、個性的な文化や競争力のある産業の振興、サステイナブルな生活環境への改善、自然・都市景観の保護、そして住民や観光客に対する魅力的な地域空間の形成などが必要とされているのです。

本専攻では、各地域におけるこうした課題に取り組むための政策創造能力を身に付けます。「経済・社会・雇用創造群」「文化・都市・観光創造群」「地域産業・企業創造群」の3分野、9プログラムを用意。また、自治体や官庁と協力したワークショップなどのプログラムもあり、政策立案や実施の現場感覚を養うことが可能です。政策の現場に明るい一流の教員による親身で実践的な指導も特長です。

政策研究に不可欠な知識とスキル、当該分野における創造的発想力、政策センスと実務能力を習得し、豊かで持続可能な地域社会をリードする人材を育成します。

### アドミッション・ポリシー

(学生の受け入れ方針)

高度専門職業人の養成を目的に社会人を受け入れる。同時に、研究者志望の学生の受け入れも行う。国や自治体の政策だけでなく、企業や非営利部門の政策、地域づくりにおける学際的な分野の政策研究に意欲のある学生を期待。政策の理論研究に加え、政策は現場の重要性が高いため、フィールド・リサーチに関心があることが望ましい。政策形成に必要な知識や研究スキル、広い視野と好奇心のある学生を求める。

### カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

研究専門領域に応じて3つの研究群、9つのプログラムからカリキュラムを構成。専門的な研究学習が深く履修できるとともに、幅広い関連領域を履修できるように編成。他研究科の科目履修も可能としている。また、学生の多様な経歴を考慮し、政策関連領域の展望や基礎知識、修士論文の作成に向けた研究方法やスキルを学ぶ必修科目を配置。地域活性化事業などに参加できる科目もある。

### ディプロマ・ポリシー

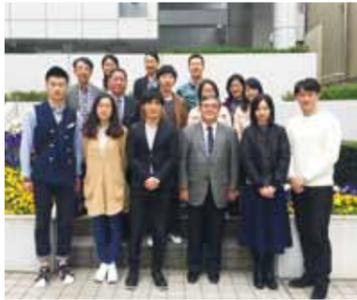
(学位授与の方針)

政策形成には幅広い関連知識や多様な研究スキルの習得と共に、広い視野、現場感覚、あるいは一定の実務が要求される。こうした能力を養成することが本専攻の目標であり、修士論文や博士論文を作成する過程で身に付くよう教育課程を設定している。修士および博士の学位の取得には、履修した研究領域における政策形成能力の習得が求められる。

## 研究室紹介 | サステイナブルな社会実現のための企業、消費者の役割を研究

樋口教授 | 地域経済の実証研究、市場経済とCSRなど

樋口ゼミでは、CSR論を基本テーマとしつつ、サステイナブルな社会を目指して、グローバルな課題、地域の課題に対して、企業や消費者の担うべき役割を考えます。ゼミ生は、各人の実践的な問題意識に従い、それぞれ消費者問題、環境問題、介護予防、起業、地域の活性化など、さまざまなテーマについて、研究を深めています。ゼミの活動では、ゲストとの意見交換、地域との交流、ゼミ旅行など、学生の自主的な提案を尊重しつつ、年間を通じて多彩な活動を展開しています。ゼミ旅行では、北海道の市民風車の調査(2014)、京都、滋賀の廃食用油燃料の調査(2015)などを行っています。ゼミの motto は、「楽しく学ぼう」。毎週土曜日、仲間と忌憚なく語り合う時間を共有できればと願っています。



## Voice |



修士課程 2015年度修了  
勤務先：株式会社リクルートスタッフィング  
江島 恒一

(研究テーマ)登録型派遣労働者の出産後における再就業の阻害要因とは一産休・育休取得有無と再就業の関係性についての検証—

## 多様な働き方が必要とされ認められる社会の実現のために、自身の関わりの領域を広げるきっかけに

### 進学のきっかけ

人材ビジネスにて15年間、企業や就業者のさまざまな人的課題に触れてきました。多様な働き方が求められている社会のはずなのに、「雇用のミスマッチ」が存在し、ルールやイメージ含め多くの「雇用の課題」が存在していることに疑問を感じていました。そんなときに、法政大学大学院の存在を知り、事業を通じて得られない視点の獲得や雇用の構造理解を行う事が、社会人として幅を広げられるのではないかと思い、チャレンジすることを決意しました。

### 大学院の魅力

法政大学大学院は、知的好奇心を満たすことはもちろん、実業に生かせる実践的な研究を推奨しています。そのため、ゼミや授業において、社会や経済の最新の情報や社会課題について多様な視点で提示があり、議論を通じて新たな視界を得て知見を深めることができます。教授陣だけでなく、多様なバックグラウンドを持つ社会人院生との交流もあり、進学前の期待をはるかに上回る貴重な経験となりました。

## 専任教員と担当科目 (2016年度) ※年度により授業を持たない場合があります。 ( ) 内は単位数

**石山 恒貴 教授** 専 雇用政策論、人的資源管理論、キャリア形成支援論  
研 雇用の変化に伴う人的資源管理の方向性の研究、職業能力開発とキャリア形成支援の研究、組織内専門人材と越境的能力開発の研究  
担 雇用政策研究(マクロ) 比較雇用政策研究 人的資源管理論 地域雇用政策事例研究 プログラム演習 雇用政策特殊研究Ⅰ～Ⅲ

**上山 肇 教授** 専 都市政策、都市計画、地区まちづくり、景観、親水工学  
研 都市空間(親水空間など)が周辺の都市環境に及ぼす影響に関する研究、地区まちづくりの理論と実践に関する研究  
担 政策ワークショップ 都市空間論 地域社会論 都市再生事例研究 研究法 プログラム演習 都市政策特殊研究Ⅰ～Ⅲ

**坂本 光司 教授** 専 中小企業経営論、地域産業論、地域経済論、福祉産業論  
研 中小企業のあるべき経営指標の研究、従業員のモチベーションを高める諸制度の研究、好業績を持続する中小企業・商店の研究、支持される商店街の研究、障害者雇用に関する研究  
担 新産業創出論 中小企業論 プログラム演習 企業経営特殊研究Ⅰ～Ⅲ 特別講義Ⅳ/V

**樋口 一清 教授** 専 消費経済学、産業政策論、地域経済論  
研 市場経済とCSR、消費者政策、地域イノベーション・システム  
担 政策デザイン事例研究 企業活動と社会 CSR論 地域産業政策論 プログラム演習 CSR特殊研究Ⅰ～Ⅲ

**岡本 義行 教授** 専 企業論、産業論、地域経済論  
研 企業・産業の国際比較研究、中小企業や産業集積および支援政策の研究、地域振興、まちづくり、農業・漁業の振興の研究  
担 政策分析の基礎 地域経済学 産業クラスター論 プログラム演習 産業政策特殊研究Ⅰ～Ⅲ 合同ゼミ

**小峰 隆夫 教授** 専 日本経済論、地域経済論  
研 日本経済の課題と政策、人口と経済についての研究  
担 経済政策論 日本経済論 少子・高齢化分析 構造改革論 プログラム演習 経済政策特殊研究Ⅰ～Ⅲ

**高尾 真紀子 教授** 専 生活政策論  
研 地域政策、社会保障政策、医療・介護  
担 調査法 英語論文文献講読 地域活性化システム論 生活政策論 プログラム演習 経済学 外国語文献講読 地域社会政策特殊研究Ⅰ～Ⅲ 合同ゼミ

**増淵 敏之 教授** 専 経済地理学、文化経済学  
研 コンテンツツーリズム、コンテンツによる地域ブランド形成、文化・芸術による地域振興、伝統芸能の保存  
担 現代地理学 文化資源論 コミュニティメディア論 都市文化論 コンテンツツーリズム論 プログラム演習 文化政策特殊研究Ⅰ～Ⅲ

## 設置科目 (2016年度) ※開講科目は年度により異なります。( ) 内は単位数

### <修士課程>

- 政策分析の基礎(2)
- 政策ワークショップ(2)
- 調査・データ分析の基礎(2)
- 調査法(2)
- 日本経済論(2)
- 人的資源管理論(2)
- 地域活性化システム論(2)
- 現代地理学(2)
- 都市空間論(2)
- 地域活性特論(4)
- 観光社会学(2)
- 地域経済学(2)
- 中小企業論(2)
- 政策デザイン事例研究(2)
- 少子・高齢化分析(2)
- 構造改革論(2)
- 経済政策論(2)
- 地方財政論(2)
- 公共選択論(2)
- 雇用政策研究(マクロ)(2)
- 雇用政策研究(ミクロ)(2)
- キャリア政策研究(2)
- 地域雇用政策事例研究(2)
- 比較雇用政策研究(2)
- 地域コミュニティ論(2)
- 消費者政策・競争政策(2)
- 生活政策論(2)
- 地域社会論(2)
- 都市集積論(2)
- 都市再生事例研究(2)
- 比較都市事例研究(2)
- 文化資源論(2)
- コミュニティメディア論(2)
- 都市文化論(2)
- 観光文化政策論(2)
- 観光政策論(2)
- 地域ブランド論Ⅰ(2)
- 地域ブランド論Ⅱ(2)
- コンテンツツーリズム論(2)
- 観光開発論(2)
- フィールドワーク論(2)
- メディア産業論(2)
- イベント・フェスティバル論(2)
- 観光マーケティング論(2)
- 観光とメディア(2)
- オルタナティブ・ツーリズム論(2)
- 長期滞在観光論(2)
- 産業クラスター論(2)
- ソーシャルキャピタル論(2)
- 地域イノベーション論(2)
- 市場戦略論(4)

### <博士後期課程>

- 研究法(2)
- 外国語文献講読(2)
- 合同ゼミ(2)
- 経済政策特殊講義(2)
- 雇用政策特殊講義(2)
- CSR特殊講義(2)
- 企業経営特殊講義(2)
- 都市政策特殊講義(2)
- 産業政策特殊講義(2)
- 文化政策特殊講義(2)
- 観光政策特殊講義(2)
- 地域社会政策特殊講義(2)
- 経済政策特殊研究Ⅰ～Ⅲ(各4)
- 雇用政策特殊研究Ⅰ～Ⅲ(各4)
- CSR特殊研究Ⅰ～Ⅲ(各4)
- 企業経営特殊研究Ⅰ～Ⅲ(各4)
- 都市政策特殊研究Ⅰ～Ⅲ(各4)
- 産業政策特殊研究Ⅰ～Ⅲ(各4)
- 文化政策特殊研究Ⅰ～Ⅲ(各4)
- 観光政策特殊研究Ⅰ～Ⅲ(各4)
- 地域社会政策特殊研究Ⅰ～Ⅲ(各4)